

2018 年度 一般社団法人全国フードバンク推進協議会

事業報告書

事業概要

◆事業概要

- (1) 組織基盤強化を目的としたフードバンク団体への伴走支援
- (2) オンラインのWEB会議や直接訪問によるノウハウ支援
- (3) 全国フードドライブキャンペーン
- (4) 食品企業開拓及びマッチング
- (5) シンポジウムの開催
- (6) 政策提言活動

(1) 組織基盤強化を目的としたフードバンク団体への伴走支援

①目的

- ・ 外部専門機関の協力のもと、フードバンク団体に対して継続的な伴走支援を行うことで、個別の課題の解決や組織基盤の強化を図る。

②実施内容

- ・ 助成事業終了後も、全国フードバンク推進協議会が独自に伴走支援を行えるように、弊会の人材育成及びノウハウの蓄積を実施（コンサルタント養成講座に事務局 2 名が参加）。
- ・ フードバンク 2 団体に対して組織診断、優先課題の抽出、解決策の立案及び実施をサポート。

③実施日（期間）

- ・ 2018 年 7 月～9 月（通信講座「NPO 実践マネジメント入門講座」）
- ・ 2018 年 9 月～12 月（人材育成「NPO マネジメント支援コンサルタント養成入門講座」）
- ・ 2018 年 12 月～2019 年 3 月（フードバンク団体への組織基盤強化支援）

④実施回数

- ・ 通信講座（NPO 実践マネジメント入門講座）の受講
- ・ NPO マネジメント支援コンサルタント養成講座（座学 7 回、実地研修 2 回）
- ・ 組織基盤強化支援（対象の 2 団体へ、延べ 5 回の訪問）

⑤連携団体名及び役割

- ・ 公益財団法人パブリックリソース財団と連携。コンサルタントの人材育成、組織基盤強化支援に対する助言、組織診断の実施にご協力いただいた。



コンサルタント養成講座実地研



コンサルタント養成講座修了



コンサルタント養成講座修了



フードバンク団体への基盤強化支援
(第一回目団体訪問)



フードバンク団体への基盤強化支援
(第2回目団体訪問)



フードバンク団体への基盤強化支援
(第2回目団体訪問)

(2) オンラインのWEB会議や直接訪問によるノウハウ支援

①目的

- ・ WEB 会議や直接訪問を通して、優先順位の高い課題や重要な情報について、国内フードバンク団体との情報共有、ノウハウ支援等を行なうことで、国内フードバンク団体の発展をサポートする。

②実施内容

- ・ 重要な情報の共有、既存の団体へのノウハウ支援、新設団体の立ち上げ支援を実施。

③実施日（期間）

- ・ 2018年4月～2019年3月

④実施回数

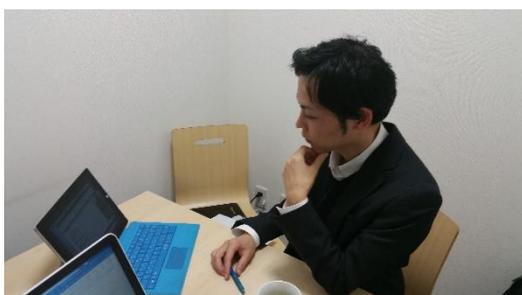
- ・ WEB 会議 6 回（自治体向けアドボカシー、フードドライブ、ファンドレイジング活動等について）
- ・ 直接訪問 18 回（立ち上げ支援、自治体向けアドボカシー、フードバンク支援税制の説明等）

⑤対象者・数（団体）

- ・ フードバンク団体等、38 団体

⑥その他

- ・ その他の方法によるノウハウ支援として、電話（27 回）、メール（43 回）、資料提供（41 回）、来所による対面支援（5 回）、合計 116 回のノウハウ支援を実施。



WEB 会議によるノウハウ支援



直接訪問によるノウハウ支援

(3) 全国フードドライブキャンペーン

①目的

- ・ 給食のない冬休み中の子ども達への支援を充実させるため、全国各地のフードバンク団体間で時期を合わせて全国的なフードドライブ（一般市民から食品を集める取り組み）キャンペーンを行なう。

②実施内容

- ・ 加盟団体と連携してフードドライブを実施、加盟団体へのノウハウ支援、実施方法に対する助言。
- ・ 広報の効果を高めるために著名なインフルエンサーを獲得する。

③実施日（期間）

- ・ 2018年12月1日～2019年1月31日

④対象者・数（団体）

- ・ フードバンク団体18団体が181ヶ所の食品回収拠点を設置して実施
- ・ 集まった食品の重量の合計は42.9トン

⑤その他

- ・ 今回は女優の石田ひかりさんにインフルエンサーとして協力していただき、写真と応援メッセージを各団体の広報物（HP、facebook、プレスリリース）へ掲載させていただき、集まった食品の箱詰め作業にもご本人にご参加いただきました。



女優 石田ひかりさん

おなかをすかせている子どもたち、
お父さん、お母さん、弱い立場に置かれている
全ての人のお役に立てるよう、私も微力ながら
行動したいと思っています！
心はいつも皆さんと共に！

石田ひかりさんからのメッセージ

(4) 食品企業開拓及びマッチング

①目的

- ・ 食品企業に対して食品寄贈の支援要請を行う。また、各地のフードバンク団体に寄贈食品をマッチングすることで、支援に必要な食品を提供する。

②実施内容

- ・ 企業への支援要請を行う。
- ・ 企業からの食品寄贈の受け入れ及び、各地のフードバンク団体とのマッチングを実施。

③実施日（期間）

- ・ 2018年4月～2019年3月

④実施回数

- ・ 企業への支援要請（26社）
- ・ 食品提供回数（延べ31社）
- ・ 食品提供重量（57t）
- ・ 食品以外にも物品や什器の寄贈の仲介も実施

⑤対象者・数（食品寄贈先）

- ・ 全国のフードバンク団体、延べ231団体



フードバンク団体への食品提供



フードバンク団体への食品提供



フードバンク団体へ保冷バックを提供



フードバンク団体へ保冷バックを提供



フードバンク団体へ什器を提供

(5) シンポジウムの開催

①目的

- ・ 子どもの貧困問題に関する周知啓発を目的としたシンポジウムを開催する。特に潜在的な支援者である企業関係者の参加を促す。

②実施内容

- ・ 企業関係者や市民向けに、子供の貧困問題や企業のフードバンクや子ども食堂への支援を増やすためのシンポジウムを開催。
- ・ 2018年12月に農水省、国税庁が明確にした、フードバンクへの支援税制についても企業向けの説明を行った。

③実施日（期間）

- ・ 2019年3月19日

④実施場所

- ・ 東京都千代田区神田鍛冶町 3-3-3 高遠ビル

⑤対象者・数

- ・ 33名、食品関連企業参加者は10名



フードバンク団体と企業との連携事例の説明



フードバンクへの食品寄贈に係る支援税制の説明

(6) 政策提言活動

①目的

- ・ 食品ロス削減推進法案の成立を目的とする。

②実施内容

- ・ 国会議員へのロビイング
- ・ 院内集会の開催
- ・ メディアを通しての課題広報

③実施日（期間）

- ・ 2018年5月17日～

④実施場所

- ・ 衆議院、及び参議院議員会館

⑤対象者・数

- ・ 消費者問題に関する特別委員会に所属する国会議員
- ・ その他各政党のキーパーソンとなる議員

⑥実施内容

項目	回数等
議員会館を訪問した日数	延べ30日
事務室訪問、国会議員面談回数	278回
国会議員本人との面談回数	47回
秘書との面談回数	231回
与党訪問回数	148回
野党訪問回数	130回

2018年6月13日 「食品ロスの削減の推進に関する法律案」緊急院内集会



当日は全国各地のフードバンク団体関係者や子ども食堂、メディア、企業、一般の方々等、約100名が参加。また、幅広い政党から18名（その他秘書の代理出席は26名）の国会議員が出席

参加議員＜敬称略、五十音順＞（ ）内は所属政党

【衆議院議員】

阿久津幸彦（立憲民主党）、井上一徳（希望の党）、佐藤英道（公明党）
西岡秀子（国民民主党）、畑野君枝（日本共産党）、堀越啓仁（立憲民主党）
務台俊介（自由民主党）、山田賢司（自由民主党）

【参議院議員】

河野義博（公明党）、古賀友一郎（自由民主党）、山東昭子（自由民主党）
大門実紀史（日本共産党）、竹谷とし子（公明党）、新妻秀規（公明党）
宮沢由佳（立憲民主党）、森本真治（国民民主党）、矢倉克夫（公明党）
若松謙維（公明党）

秘書の代理出席＜敬称略、五十音順＞

【衆議院議員】

青山雅幸（立憲民主党）、浅野哲（国民民主党）、阿部俊子（自由民主党）
稲富修二（国民民主党）、大口善徳（公明党）、吉良州司（国民民主党）
佐々木隆博（立憲民主党）、佐藤茂樹（公明党）、関健一郎（国民民主党）
高木美智代（公明党）、中谷真一（自由民主党）、堀内詔子（自由民主党）
道下大樹（立憲民主党）、森山浩行（立憲民主党）、山尾志桜里（立憲民主党）
横光克彦（立憲民主党）、笠浩史（無所属）、鷲尾英一郎（無所属）
早稲田夕季（立憲民主党）

【参議院議員】

上野通子（自由民主党）、佐々木さやか（公明党）、平山佐知子（無所属）
福島瑞穂（社会民主党）、松川るい（自由民主党）、三原じゅん子（自由民主党）
矢田稚子（国民民主党）

2018年11月30日 「食品ロスの削減の推進に関する法律案」緊急院内集会



全国各地のフードバンク団体関係者や子ども食堂、メディア、企業、一般の方々等、約100名が参加。また、8名の国会議員（その他秘書の代理出席は7名）の国会議員が参加。参議院本会議と開催時間が重複したため、参議院議員の参加は少数であった。

参加議員<敬称略、五十音順>（ ）内は所属政党

泉健太衆院議員（国民民主党）、大西健介衆院議員（国民民主党）、
木村弥生衆院議員（自由民主党）、西岡秀子衆院議員（国民民主党）、
古屋範子衆院議員（公明党）、堀内詔子衆院議員（自由民主党）
山本和嘉子衆院議員（立憲民主党）、竹谷とし子参院議員（公明党）

■秘書の代理出席＜敬称略、五十音順＞

【衆議院議員】

佐々木隆博（立憲民主党）、中谷元（自由民主党）

【参議院議員】

大門実紀史（日本共産党）、牧山弘恵（立憲民主党）、宮沢由佳（立憲民主党）
森本真治（国民民主党）、山添拓（日本共産党）

まとめ

①事業によって得られた成果

- ・ フードバンク団体への組織基盤強化支援については、2 団体に対して支援を行うことができた。また、支援者側の人材育成を重点的に行い、事業終了後も弊会が継続してフードバンク団体の組織基盤強化支援を行えるような体制を整えることができた。そのため、助成事業終了後も継続的に伴走支援を行えている。
- ・ オンラインによる WEB 会議や訪問による直接的なノウハウ支援については、オンラインでの会議は当初想定よりニーズが少なく、目標の 12 回に対して、6 回の実施にとどまったが、直接訪問による支援は目標の 8 回に対して、18 回の実施となった。また、その他のノウハウ支援として、電話やメール等で 116 回の支援を行ったことで、新設団体の立ち上げや、既存の団体が抱える課題の解決、先進事例の他地域への共有と実施につながった。
- ・ 全国フードドライブキャンペーンについては、参加団体が前年度の 10 団体から 18 団体まで増加したが、目標の 25 団体までには至らなかった。重量は 42.9 トンの食品を集めることができ、目標の 30 トンを上回った。また、本年度の事業ではインフルエンサーに石田ひかりさんにご協力をいただくことができ、全国各地の団体からの広報を通して、一般市民への子供の貧困問題への周知・啓発にもつながった。
- ・ 食品企業からの食品寄贈については、延べ 31 社から 57 トンの食品等を延べ 231 団体へのマッチングを実施することができ、各団体を通して生活困窮世帯や子ども食堂、児童養護施設等への食品支援に活用していただくことができた。
- ・ シンポジウムの開催については、一般市民の参加は少なかったものの、食品企業に対して支援の必要性やフードバンクへの食品提供に対する支援税制について共有をすることができ、参加した企業からイベント開催後に食品を寄贈いただく事例も出てきている。
- ・ 政策提言活動については、2018 年の通常国会、臨時国会での成立は叶わなかったが、2019 年度の通常国会での早期の成立に貢献することができた。

②課題と今後に向けて

- ・ SDGs が追い風となり、企業は非営利活動への支援に積極的になっているため、連携企業が増加している。また近年、子供の貧困問題に対する社会の認知が進む中で、新

設フードバンク団体も急増している。そのため連携企業や支援対象団体の増加に対して、支援に必要なマンパワーが慢性的に不足しており、サポート体制が追いついていない。また、継続的にロビイングを続ける体制も整ってはいない。

- ・ 今後は増加する支援ニーズに対応するために、今年度の事業の成果、実績を元に企業を対象としたファンドレイジングを積極的に行い、弊会のサポート体制を強化することによって組織基盤を更に拡大し、国内フードバンク活動全体の発展に貢献していきたい。